2014 年 10 月

OSSC NEWS

OSSC

～～　Odo　Sunrise　Sailing　Club　～～

発行所：小戸サンライズセーリングクラブ（福岡市西区小戸３－５８－１　福岡市立ヨットハーバー）

新入会員歓迎会のご案内

2014 年の新入会員歓迎会を下記要領で開催致します。
日時：2014 年 10 月 4 日(土)　18：30～20：30
会場：くつろぎダイニング　寿里庵(ジュリアン)　大名店
住所：福岡県福岡市中央区大名 2 丁目 9-5 グランドビル 2 階
電話：050-5522-6663
会費：4,000 円

2014 タモリカップ福岡

8 月 15 日(金)～16 日(土)　添田記

2014 年 8 月 15 日(金)～16 日(土)に 2014 タモリカップ福岡が開催されました。当初予定の 8/9～8/10 から台風のため変更になったお盆の最中に、土砂降りの 15 日の前夜祭の BBQ！、雨で始まった 16 日パレード！、曇りのタモリカップと、これでもかと言う状況にもかかわらず、期間通して大盛り上がりでした。OSSC からもフェスタで参加しました。

西区まるごと博物館

8 月 16 日(土)　村上(英)記

西区まるごと博物館の件　9 日、10 日予定のタモリカップが台風の影響で延期となり、15 日、16 日に開催されます。16 日は西区まるごと博物館のディンギーで親子を乗せて協力する予定でしたが、スキッパー、クルーの人員、安全確保が難しいため、ディンギーでのイベントは中止となりました。16 日は通常活動になります。なお、カヌー、ウィンドサーフィンなどの他のイベントは行われます。

船底掃除・納涼ソーメン

8 月 24 日(日)　内海記

素麺の日の通常活動報告　天候のはっきりしない中、風もなく雷が心配だったため大原行きをやめ、通常活動に切替えました。出艇時刻 10：30 頃は風もなく、みなさん苦労して沖合へ集合しましたが、準備を開始しマークを打ち終わる頃から南側 3～4m/ s の風が吹き始めレースを行いました。途中、謎の美人セイラーが迷い込んだりジュニア 3 艇の参戦など賑わいながら 1 レース 15 分ぐらいのペースでしたので 6 レース程実施したと思います。レースを重ねるごとに少し前まで新人だった方もスキッパーとして活躍されており、目を見張るものがありました。それらの様子は”のこのこ”で動き回りながら写真を撮りましたのでご確認ください。

レスキュー艇”のこのこ”の新エンジンはとても静かで滑らかな吹き上がりです。船体とのバランスも良く操船しやすい仕上がりです。(会長の入念なテスト済みです !!!)

また、フェスタのほうも快調なセイリングを終え、野口さんのクルーザー艇長資格が認定されました。トラブル報告は S-1、S-5 のセイルリペア(済) と OS-1 メインブロック修理（未）です。今後も、体験会や BBQ、小戸カップ、新人歓迎会等、イベントも目白押しです。ふるっての参加で賑わいましょう。

山内記

『のこのこ・フェスタ船底掃除 with 素麺ランチ』イベント報告について

天気予報の午後から雨が降り始める予報に反し、朝方から雨模様。本日の参加人数が心配されましたが、参加人数を心配されて 3、4 人前は食べるぞ！と気合いを入れて来られた方々19 名がバーバー2 階に集結しました。

当初は船底掃除を行う予定でしたが、エンジンを新規購入した際に船底掃除までして頂いたようで、牡蠣等も付いていなくてピカピカ状態。これだったら大丈夫と言うことで本日は『通常活動＆素麺ランチ』となりました。朝のミーティングでは予定通り大原海水浴場で素麺ランチ案も上がりましたが、雷注意報も発令されていた為、残念ながら断念。代替案として近場でもある能古島の南側にビーチングして素麺ランチ案も提案されましたが、天気がイマイチな時に経験していない場所でのビーチングは危険なのでは？！などの意見もあり、最終的に近場でマークを打ってのコース練習＆ハーバー2 階での素麺ランチに決定しました。

本日はシングル 2 艇、シーラーク 5 艇、レスキュー2 名、フェスタ 4 名、艇整備 1 名合計 19 名の活動です。ディンギー組は午前 10 時 30 頃に出艇。(通常活動内容は活動当番の方が報告されると思われますので、割愛させて頂きます)

午後 1 時頃に練習が終了し、いよいよ本日のメインイベントの素麺タイムです。OSSC 恒例素麺は水菜、かいわれ大根、きゅうり、ミニトマトの野菜がたっぷり入った素麺です。薬味も錦糸卵、ねぎ、みょうがと前 B&G 福岡ジュニアヨット海洋クラブ会長の大原氏から頂いたペパーミント＆スペアミント(葉の先端が尖った方がペパーミントだそうです)と種類も豊富。今回は 1 人前 2 束で 18 人前を準備。鍋二つ分で仕上がった素麺を前にして全員が揃うまでお預け状態。しかしだんだん待ちきれなくて器に素麺を入れた状態で待機となり、さらに待ちきれなくてとうとう素麺ランチのスタートとなりました。

素麺を美味しく食べる為に、本日はみっちりと練習をした為、食べるスピードがめちゃくちゃ早い！　途中、ちょっとブレイクタイムを設けて、全員揃っての再スタートとなり 10 分強で鍋二つ分、きれいに完食しました。

次回の屋外イベントは 9 月 6 日(土)の家族バーベキューです。屋外イベントは今回のように天候に影響されやすく、場合によっては中止になる場合もありますが、9 月 6 日(土)は晴れるように、皆さんてるてる坊主を作ってお願いして下さい(笑　本日は雨天にも関わらずご参加して頂きありがとうございました。

イベント世話係　宮尾・槻木・村上・堀内・添田・山内

家族 BBQ

9 月 6 日(土)　堀内記

午後 2 時から小戸公園のバーベキュー広場にて『家族 BBQ』は、前線通過による荒天からのディンギー救助などで、心落ち着かずの様子のまま開始しましたが、最後は楽しんでもらえました。

日時　：2014 年 9 月 6 日(土)　14:00-16:00
会場　：小戸公園（2014 年度は）
参加費：1,000 円（家族会員＆ご家族は無料）
趣旨　：休日にも関わらずヨット遊びを容認して頂いているご家族への感謝の気持ちを込めた『ご家族感謝祭』でもありますので家族会員＆ご家族は無料となります。ご家族をお誘い合せのうえ、是非ご参加下さい。イベント世話係が冷たい飲み物とバーベキューの準備をして、皆様のお越しを心よりお待ちしております。奮ってご参加下さい！

イベント世話係　槻木・桑田・村上(英)・堀内・添田・山内

第 16 回小戸カップヨットレース

9 月 7 日(日) 堀内記

9 月 7 日(日)、2014 年度高島市長杯、小戸カップが開催されました。今年の夏は雨ばかりで鬱陶しい天気が続いていましたが、この日はスカッと晴れ。久し振りに太陽の下でのレースとなりました。また例年にも増して参加艇が多くディンギーでは出艇数 94 艇と大フリートレースとなり、夏の最後を飾るに相応しい大会となりました。OSSC からは自艇での参加を含め 16 艇、25 名が参加、ディンギークラスの他にクルーザークラスでの参加者もありました。

ディンギークラスの結果は希に見る大接戦となりました。1 位と 2 位が同タイムで村上/西田組(A 級/帆友会)が 2 位の日経大 OG 組(セーリングスピリッツ/県連)を僅かに押さえて優勝、3 位は 20 秒差で堀内/山内組(シカーラ Y2/OSSC)が入りました。90 分走ったうえでの 20 秒ですからいかに接戦であったか伺えます。またこの差にもまして、4 位には 3 位に 1 秒差で牛島/緒方組(シカーラ/九産大 OB 一般)が入りました。上位陣を見ると老練なベテランセーラーが艇の YSN を活かす走りをして学生陣を押さえる中、福岡県代表の国体選手が絡んできた構図でした。

ところで、3 位の Y-2 と 4 位の牛島艇は因縁のライバル、艇は同じシカーラでスピン仕様。牛島艇は昨年の林杯、象瀬回りのロングコースで優勝してからロングには絶対の自信を持っており今回も優勝を口にしてはばかりません。一方の Y2 はどちらかと言えばオリンピックコース派、ロングは苦手、スキッパーの集中力が欠ける事があり、象瀬までのクローズが飽きてしまう欠点があります。昨年の小戸カップでは象瀬の途中までダントツ。同大会優勝艇の小向井(OS-7)を押さえて黒田艇に次いで 2 番手で走っていたものの途中で失速しています。しかし牛島艇にとっては気になる存在のようです。

今回は出艇前から牛島さんが Y2 にやってきて艤装拝見。Y2 のマストステップ位置やリーダーの位置を見ながらどうじゃのこうじゃの。明らかに牽制です。海上に出てもピッタリマークされ、スタートラインではアウターで付近で小競り合い。スタート直後こそ右と左へ分かれたものの、能古島の南西の浅瀬を通過する時にミートしてから完璧にカバーされ、絵に描いたような 6 時タックで繰り返し押さえられました。

差を縮めたり広げたりしながら走るも結局 Y2 は牛島艇の前へ出ることなく象瀬回航。象瀬-サイドマークで若干差を詰めるも、フリートの西側をキープする牛島艇を抜けない。逆に Y2 はフリート下側で FJ に絡まれ前へ出られない。そのままサイドマーク回航。勝負はサイド-フィニッシュになりました。

必死に逃げ切りを図る牛島艇にサイドマークからフィニッシュラインの中間位置くらいで追いつき、やっと攻撃できる距離になりました。サイド-フィニッシュはほぼデットラン。ポートタックで上りを仕掛けます。艇速で劣る牛島艇は上りに付き合うしかありません。一方では修正時間勝負のため、やりすぎは禁物。上らしたり落としたり揺さぶりました。しばらく走りここまで来ればジャイブを 2 回打たないとフィニッシュ出来ない位置となり、Y2 に勝機が訪れました。案の定、痺れを切らした牛島艇がジャイブ、同時に Y2 ジャイブ、完璧にブランケットをかける位置をキープ。暫くしてもう一度ジャイブ。これも Y2 は鋭く対応、横並びでフィニッシュラインに並送。最後の波ひとつ、ブローひとつと根性でで Y2 はバウを出し先着となりました。成績表では 1 秒差になっていますが、実際には 1 秒も無い 50 センチ程度の差だった思います。

牛島艇に勝ったので、実はこいつは優勝かと心の中でニンマリしていましたが、蓋を開けれてみれば村上チ

ャンプと国体代表選手にやられてしまいました。来年に向けての励みになりました。
　レース終了後はいつもの大抽選会。アベチャンは居ませんでした。豪華景品が当たった人、外れた人、喜悲交々、小戸の夏の大イベントは終了しました。これで夏も終わりだぁ～　　　　　臨時の活動当番/堀内

OSSC の総合順位は下記の通りです。総合優勝の村上/西田組は帆友会で参加。参加 94 艇。

順位	艇種	氏名
3 位	ｼｶｰﾗ	堀内・山内
14 位	ｼｰﾗｰｸ	野口・深町
29 位	ｼｰﾎｯﾊﾟｰ	村久木
30 位	ｼｰﾎｯﾊﾟｰ	村上(英)
35 位	ｼｰﾗｰｸ	三野・松熊
38 位	ﾚｰｻﾞｰﾗｼﾞｱﾙ	秦
39 位	ｼｰﾗｰｸ	湯川・田中
49 位	ｼｶｰﾗ	友納・広崎
60 位	ﾚｰｻﾞｰﾗｼﾞｱﾙ	桑田
63 位	ｼｰﾗｰｸ	添田・鳥飼
69 位	ｼｶｰﾗ	縄田・金子
71 位	ｼｶｰﾗ	河村・松岡
76 位	ｼｰﾎｯﾊﾟｰ	木村
77 位	ｼｰﾗｰｸ	内海・内海
78 位	ｼｰﾎｯﾊﾟｰ	松永(自艇)
85 位	ｼｶｰﾗ	林・村瀬

総合優勝

1 位　(OSSC 内)

2 位　(OSSC 内)

のこのこ杯クラブレース

9 月 21 日(日)　内海記

　９月２１日（日）やや肌寒い気候ではありましたが１４名のメンバーが集合しのこのこ杯クラブレースを開催しました。気温も徐々に上がりシングル２艇、ラーク５艇のエントリーのもと出廷時刻１０：３０レース開始１１：１５で計５レース行いました。風は北東から北に振れていく状態で２m/s のコンディション、午前中２レース実施、マークを修正し午後から微風での１レース、その後風があがり北風３m/s の中２レース行いました。順位は以下の通りです。

順位	艇	氏名
1 位	OS3	宇根・デビット
2 位	OS7	豊福・内海(晴)
3 位	S5	野口
4 位	OS4	縄田・岡崎
5 位	S1	三野
6 位	OS2	宮尾・桑田
7 位	OS1	湯川・松熊

1 位

2 位

3 位

スナイプ級世界選手権

8月28日(木) 深町記

本日、宮尾さんのお声がけのもと、スナイプ級世界選手権を観覧してきました。

風速５～６メートル＆今にも雨が降り出しそうな曇空の下で、世界中から集まった海艇人たちによる迫力あるレースが開催されました。

このレースには、我が OSSC のメンバーでもある村上光一さんが出場されています。観覧艇のこのこからの声援にも笑顔で応えていただいた村上艇は、セイル No.31054。そのスナイプ艇に乗艇された村上＆西田ペアは、世界中の海艇人に勝るとも劣らない落ち着いた走りをされていました。

コースは、Windward-Leeward コース（※いわゆる上＆下の２マーク回航コース）。本日は天候不良のため、本日は１レースのみ行われましたが、残りあと４レース！　どうか、村上さん＆西田さんペアにとって、記念すべきレースになりますように…ヽ(´▽`)/

観覧艇からの撮影でしたので、少し遠目ですが、写真をアップしました。尚、今回のレースパンフレットをいただいてきましたので、土曜日の活動時に、部室に置いておきます。みなさん、ご自由にお持ち帰りくださいね。

～追記～　なんと！村瀬さんは、ポルトガル語がとてもお上手でした！　ブラジルから出場されている 82 歳のセーラーウーマンさんと、とても楽しそうにコミュニケーションとされていました！　我がクラブは、ワールドワイドですね～ヽ(´▽`)/

レスキュー艇のこのこエンジン交換！

8月18日(月)～22日(金) 深町記

- エンジン交換を 8 月 18 日(月)～8 月 22 日(金)に行うことにいたしました。
- 8 月 22 日(金)にエンジン交換が終了しました。明日の活動から、使用可能です。エンジン交換にあたり、タコメーターがデジタル化され、エンジン回転数も分かりやすくなりました。また、エンジン部分周りの劣化していたホースにカバーを付けていただいたり…。ということで、新生『のこのこ』になりました（≧▽≦）！また明日から、博多湾で海タイムを楽しみましょう～！
- レスキュー艇のこのこのエンジンマニュアルをホームページの会員専用ページにアップいたしました。ご確認ください。尚、マニュアル原本は、のこのこに入れています。

前線通過による荒天でディンギー、浜に打ち上げられる

9月6日(土)

河村記

9月に入って最初の活動日ということもあり、気合を入れていざハーバーへと！　本日は家族BBQということもあり、大勢の仲間がハーバーに集まりました。雨が心配されましたが、天気も何とか持ちこたえている模様で風も穏やか。「まさかあんなことになるなんて・・・」

午後のBBQに心奪われていたのか、誰一人として2時間後に待ち受けていたあの出来事を予見できなかったのではないでしょうか。BBQが13時に繰り上がったことで、通常練習は近場でマークをうって12時過ぎには戻ってくるというスケジュール。整備が必要な艇もあり、若干遅れ気味の10時30分に出艇開始。

生の松原の海岸よりにマークを打ち終わり、予告信号を一発打ち放つ。Ｐ旗を準備中、近くにいたＡさんから、何だか雲行きが怪しいよとの助言。何気に空を見上げると、遠くの可也山上空一面には不気味な黒い雲の筋が。

『前線通過でございます・・・』

Ｐ旗を掲げ数十秒たったその時でした。もの凄い勢いで風が上がりだし、うねりをともなって波もドンドンと激しくなっていくではありませんか。「何じゃこりゃ」と思いながら前回の活動当番の時同様、練習は中止へと。

激しく吹く北風に、ベテランの方含め、多くの艇がタックするのも困難な状態に追いやられ、あれよあれよと生の松原の海岸方向へ押し流されていく状態。急いでアンカーを引き上げ、一番流されている艇を救助へと向かう。近くまで近寄ってみると艇内には多くの水が入り込みコントロール不能な状態。

たまらず活動当番のＫさんが飛び込むも、艇に到達する前に限界を超えた水舟はあえなく沈。この時点では沖合い300m程でしたでしょうか。そこから沈起こしを試みるも中々うまくいかず時間だけが経過していく状況。

クルーのＯさんをのこのこへと救助すべく牽引ロープを放り投げるも中々届かず。浮き輪を投げようと結んであるロープを解こうとするも、硬くてなかなか解けず。ようやくのこのこに辿りついた O さんも激しい波の中での乗艇に悪戦苦闘。

そうこうしている内に気づいてみると、エンジンを停止したのこのこは砂浜までわずか5mという状態へと。急いでエンジンをかけ脱出を試みるも、波打ち際で最大限に力を溜め込んだ寄せ波の力には到底およばず。あえなく生の松原の砂浜へと打ち上げられてしまったのでした・・・　自分の活躍するフィールドを追われてしまったのこのこには哀愁が漂い、活動当番の我々も、レスキューする術を失い、ただただ茫然自失・・・

他の艇の状況を確認しようと海面に目を配るも、目視で確認できる艇は3艇のみ。「ファミリー艇は大丈夫だろうか、親子艇は大丈夫だろうか？」レスキューしたくても、レスキューできないこのもどかしさ。心配だけが脳裏をよぎる。こうした状況下、自分に出来ることはただ一つ。ハーバーに一報入れて他の艇を救助してもらうこと。携帯もってて良かったー。

それから1時間程経ったでしょうか。ハーバーのレスキュー艇に牽引され、のこのこは無事自分の住処に生還されました。ともに浜に打ち上げられた2艇も無事生還の運びと相なりました。

上陸後、他のクラブ艇の話を聞いてみると学生さんを始め、多くの方々からレスキューして頂いたようで、けが人もなく全員が無事に戻ったことが確認でき、ほっとしました。救助に携わって頂いたハーバーの方々、学生の皆さん、BBQ・艇整備班のお仲間本当にありがとうございました。

このような突然のコンディションの変化は、通常活動時には中々経験できないことだと思います。本日のBBQ並び最終ミーティングでも提案があった通り、今回の出来事をみんなで共有して今後のより良い活動にいかしていくために、この掲示板上で各艇がどういう状況におかれたのか等についてご報告して頂きたく存知ます。こうしたほうが良かった、この行動が功を奏した等、自由にご報告頂ければと思います。

【艇の状況】

S-5　　特に問題なし
Y-4　　特に問題なし
OS-2　特に問題なし
OS-3　特に問題なし
OS-5　バウ左側テトラで損傷、メインセールトップバテン付抜
　　　ジブクリング部破損
　　　ラフワイヤーはがれ(ジブメインとも TOK さんへ)
OS-6　センターケース損傷　ラダーピンドルガタガタ　ハル傷多し
OS-7　Y-6 から R ピン借用　購入予定

村上(光)記

A 級で出た私も自身の操船さえままならない状態で、ただ安全を確保するだけで精一杯でした。予告信号が１１時８分。その後どれくらいの時間が経過したのか、時計を見るゆとりもない時間帯を過ごしました。出艇された全員がその時の記憶が薄れないうちに記録を残す必要があります。まず自身の記憶で、分らないことは分らないままに・・・それが実力です。非常時には実力以下の力しか出ないものです。クラブはゆとりをもって安全を図ること、そのために実力はどれくらいなのかを知っていることが大切です。投稿しなくても記録はご自身で書いていてほしいと思います。とても大切な財産になるはずです。私の記憶の一端をブログに記しました。

http://blogs.yahoo.co.jp/popcornkm/33387269.html より

春先からスナイプに乗る羽目になり、その間には松島の全日本 A 級選手権に遠征、クラブの皆さんとは実に半年ぶりの再会です。無論スロープでは顔を合わせてましたから誰も顔を知らない方ばかりなんてことはありませんでしたが。

私は明日の小戸カップの準備もあり A 級ディンギーで N さんと出艇しました。海面は風速２m程のファミリー日和。午後に予定されているバーベキューを楽しみに短時間のセーリングを楽しむ積りでした。U さん一家も家族４名でゆとりのセーリングです。

１１時過ぎレスキュー艇の本線準備が整い予告信号が上がったころ、風が４−５mに。それまでチラーを握っていた N さんと私が交代しました。更に２分後には風速が８mを超えその２分後には十数メートルに・・・・

多くのシーラークそれに私の A 級ディンギーもタックさえままならない風速です。ガフ変えもせずポートにタックした A 級は殆ど推進力を得られないままじりじりと岸に近づきます。バーベキュー準備のメンバーからのその様子が見えていたそうです。僅かに風が落ちた際に何とか逆舵でタックでき、ほっとしましたが・・・・

ラークが生の松原に接岸。幸い人に異常はない模様。これは砂浜で事なきを得たようでしたが、ポートでハーバーを目指すラークがチンを繰り返しながら護岸に接岸したようでした。この頃、海面には数艇のレスキューが我々クラブの艇や高校生などのレスキューにあたってました。接岸のラークはセンターボードを鮫にかじられたようでした。ハルもまるでピラニアに襲われたような姿です。

前線通過にもっと注意を払うべきであったとの声もありますが、風速２m の海面で出艇を見合わせることができたのか、今後の研究が待れるところでしょう。
定刻から１時間ほど遅れて始まったバーベキューは雨にも見舞われることなく家族とも３０余名のすきっ腹を満たしてくれました。会員の肉、いや人肉じゃありません。牛、豚、鹿、イノシシと盛り沢山！野菜もすべて自家製という豪華版でした。T さん差し入れの酒は残念ながら横目で眺めるのみでしたが。

村上(光)記

レスキュー艇の限界　今回、レスキュー艇自身が座礁という状況になりました。過去これも例のないことではありません。２０年近く前になりますが、曳航ロープをスクリューに絡ませた事態もありました。複数艇が同時にチンするなど常識の常識です。だからと言って予測ができるとは限りません。各艇は常にそのような事態を想定しろ・・・・原則論にすぎません。それが実際に起きたことが貴重なのです。

村上(英)記

BBQ、6 日の活動について　BBQ 美味しかったですね！肉、野菜、酒、味噌タレ、ケーキ、たくさんの差し入れがありました。朝から準備して頂いたイベント担当者に感謝です。ありがとうございます。
ところで、6 日の活動はあっという間に荒天となり、レスキュー艇、ディンギー数艇が浜に打ち上げられ、ハーバー、他クラブにレスキューして頂く事態となりました。艇の破損はありましたが、誰も怪我がなかったのが不幸中の幸いです。
BBQ 準備しながら見ていたのですが、完沈したまま曳航される学生艇もあり、おだやかな景色が数分で、すさまじい荒天に変化していきました。
活動当番からもありましたが、参加された各艇の意見があれば掲示して頂くようお願いします。荒天での沈起こし、レスキュー方法、ロープ類は万全か？改善、是正することがあれば報告ください。これは貴重な経験だと思おいます。今後の安全なヨット活動に活かしましょう。10 月 26 日に安全講習会がありますので、生きた教材となるでしょう。

三野記

9月６日（土）は！！　Ｔ（仁）さんとの乗艇でした。レースの予告信号が揚がったためレスキュー艇の後方に行こうとしていた時でした、いきなりの暴風に普段とはちょっと違うなと感じました。見る見るうちに風、波が大きくなり、この状態で海面にいることは厳しいと思いハーバーに帰港することを決断しました、レスキュー艇に帰港の合図に引き返すことが困難な状況なので合図もなしで近くにいたＴ、M組にサインを送り 2艇でハーバーに帰る旨走り出しました。
どんどん風も強くうねりも大きくななっているので、先ずは絶対に沈は避けたいと思い風を逃がしながら走りました。乗艇前にＴ（仁）さんはまだ沈の経験がないという話を聞いていたため余計この状況で沈はしたくありませんでした。風を逃がしていたため推進力より波風のパワーが強くかなり風下に流されていき、目標より下に進んでいました。
距離にしてハーバーまで残り 1/3 位のところまで来たとき波に叩かれあえなく沈！　そして沈は起きたが波風とバランスが悪くすぐにまたしても沈！　ところが気が付けば流れが速くハーバーの堤防が迫ってくる、これは堤防にぶつかると思い学生のレスキュー艇が見えたので手を振って合図を送ったが学生も２艇沈しておりこちらに救助に来てくれる気配はない。自力で脱出するしかない！
堤防が目の前に迫っている、激突も覚悟したが堤防まで数メートルのところで沈は起き上がり乗り込むことに成功、だが目の前には堤防が迫ってきている、乗り込んですぐにタックを返しセールを引き込むと前に走り出した。堤防からの脱出に成功！　堤防の上から声がしたが見る余裕はなく釣り人かと思っていたが後で聞いたらＯＳＳＣのメンバーだったとのこと。
先程の学生は２艇とも沈をしたまま流されていたが挨拶も出来ずに横を通り過ぎ沖に出た。ハルの中、センターケースにどこからか海水が浸入し船が沈んでいる。その関係かコックピットの水が抜けない。またハルの中に水があるためヒールをするたび積荷が移動するように船が傾き復元しない、道中何度も沈しそうになったがクルーのＴ（仁）さんのハイクアウトの頑張りで何とか持ちこたえた。Ｔ（仁）さんの動き、身軽さは素晴らしかった！そしてハーバーに無事帰港！
課題
◆沈をしたくないという思いで風を逃がしながらのセーリングだったが推進力より流される力が強かった。従って後５°～１０°風上狙いでもう少しだけセールを引き込み帆走した方が良かったように思った。
◆沈をしたくない守りに入ってしまい攻めの姿勢がもっとあれば良かった。
◆１５m/ｓ位になるといくら風を逃がしてもアビームでは横波に叩かれ沈をする。
◆レスキュー艇に帰港の合図なしに単独走行は良くないと思ったがや止むを得ないと思った、
結果、道中は厳しかったが自分としてはあの場所に留まっているより良かったかと思っている。

山口記

８／６(土)　Y-4 状況報告　メンバー小倉（スキッパー）山口（クルー）

１０時４５分出艇。微風の為湾内を時間をかけて海上へ。タック練習を数回行い、マークが打たれたので, 上マーク、下マークを回り本部艇を８時方向１００m 地点で P 旗を確認、その後１８０度変針、西方向へ、アビームで航行。

急に風が強くなり風上に変針を試みるが出来ず、更に風波強く艇の安定を保つ為メインを出してジブシートにて調整、すでに船内は冠水状態に、ラダーも効かないとの事（いっぱい押した状態)。

この時点　生の松原沖 200-300m、約１ｋｍ前方１２時に長垂の岬の岩場が見えたので回避する為メインを少し引き、ヒールしたら出しを繰り返し風上に変針を行う。時間の経過はわからないが、後方に 50m、のこのこを確認その後木村さんが本艇の救助に向かう時に艇は風上側に沈しました。艇を起こしてもらった後、生の松原に乗り上げました。以上が大まかな状況報告です。

これは私個人の記憶ですので真実とは違う箇所があるかもしれません。反省、感想、対策は現在の所　整理がついてません。ただ本艇の為（のこのこ）のレスキュウ活動に活動に影響があった事は事実です。しかし（のこのこ）見たときは本当にうれしかったし感謝しております。

堀内記

艇整備のレスキュー活動

艇整備が終わるか終わらないうちに北西の空がただならぬ動き。そこから先は皆さんご承知の通りです。艇整備を行なったメンバーも出来る限りのレスキュー活動を行ないました。活動の報告と備忘録です。(艇整備：縄田、加藤、堀内)

■ハーバー２階から見たもの

・OS-5　流され、岸壁に接触(しているのか、マスト先端が見え隠れ)
・OS-3　沈おこし中。流されながら、岸壁に近づく。
・OS-6　流されながら岩場の方へ
・遠く、松原の方に A 級と未確認だが艇が 1 艇流されていく。その他学生艇の沈艇、レスキュー艇が格闘中。

■取り急ぎ、シートを持って岸壁へ

・OS-5　既に岸壁から離れていた。
・OS-3　沈は起きたがスキッパーが上がれない。艇は岸壁接触直前。声を掛けるが届かず。ふとした弾みでスキッパーが這い上がる。そのときのヒールが効いたのか、スキッパーの努力で艇は向きを変える。岩場から離れ、帆走開始。
・OS-6　岩場に打ち上げられている。岩場へ向かう。

■岩場の状況

・OS-6 は波に叩かれ岩場に接触中。クルー、スキッパー乗艇したまま。
・バウラインを取る。持ってきたシートでバウライン延長。この頃、沖にレスキュー艇。(鬼塚さん、西村さん、ほか１名)
・人命を第一に考え、乗員を艇から降ろし岩場へ。これも打ち付ける波の中ではたやすい事ではなかった。
・レスキュー艇より、浮輪(レスキュー艇のフェンダー)にラインを付けて流してくれた。
・風と波で浮き輪が流され艇には届かず。加藤さん飛び込む。堀内、艇に乗り込む。加藤さんを艇に引き上げ。ラインを受け取りバウラインに結束。その間、艇のバウラインは縄田さんと金子さん保持。因みに、加藤さんと堀内はライフジャケット着用しています。
・徐々に離岸。レスキュー艇に曳航してもらいハーバーへ。
・センター及びセンターケース、センター取り付け金具が等が破損し、センター上がらず。学生や村上チャンプの協力で、ポンツーンにてセンター取り外し。その後スロープから上げる。

■のこのこに乗艇

・その後のこのこに乗艇(宮尾さん、山口さん、堀内)。S-5 と Y-4 の回収へ向かう。S-5 は既に木村さんにより帆走にてハーバーへ帰港中。安全確認。
・Y-4 の回収。宮尾さん、フェンダー浮輪に繋いだシートを持って飛び込む。Y-4 結束、ハーバーに曳航。
・その後マーク及び、アンカーの回収。

課題と反省はまた別の機会にいたします。

同日乗艇された皆さん、レスキューに参加された皆さん、当日の状況や自分の取った行動、考えたことをメモに記すのはそれなりに良いことだと思います。こんな状況下に海上にいるなんてそんなにあることではありません。反省とか提言なんて後からでも結構。無くても良いです。投稿するとかしないとかもどちらでも結構です。

田中(康)記

９月６日の突風について気象からみたコメントです。

当日のデータより再現すると（風速等のデータはアメダス福岡（大濠公園）の１０分データ）、

対馬海峡の雷雲は北東方向に進みながら後端は消滅しかかっていた。（レーダー雷画像による）

対馬海峡の雷雲は竜巻を発生する可能性のあるほど強いもであった。１１時３０分ごろには下関沖まで竜巻発生の恐れのある地域は移動していた。（レーダー竜巻画像）

１１時２０分より突如福岡の風が急増、１１時２０分台の瞬間最大風速は 13.8m でその前の１０分間の最大が 4.8m であったのに比較し非常に大きい値を示した、その後１１時４０分台には北の風 15.3m まで上がり１２時００分に 11m 前後までやや下がった後１２時３０分から緩やかに減少に向かっている。(アメダス福岡データ)

このとき風向は北西から北であり風向の大きな変化は無かった。

気温は 11:00 の 28.9℃から 11:20 の 26.2℃に急に下がって 12:00 には 24℃にまでなった。

気圧は緩やかに上昇し 1013.1hpa を暫く保った後、12:40 より緩やかな減少に入る。

このような現象は３０分後下関でもほぼ同等に観測された。

ただし下関では東風から北風へと風向の急変を伴った。下関では瞬間最大風速は 17.2m に達した。

壱岐でも福岡の５０分前に風速の急増が見られるが程度は福岡の７割くらいでやや弱かった。

気圧配置では対馬海峡は高気圧と低気圧のハザマで気圧の勾配は少ないが対馬から釜山付近にやや気圧が高く温位がかなり低い領域が認められる。この領域が福岡市の北岸に達し、対馬海峡を通過しつつあった積乱雲後部の崩壊によるマクロバースト状の下降気流と重なって上記の冷気の急速な噴出しという気象現象が起こったと推定される。

対馬海峡の雷雲が北東に移動することにより朝鮮半島からの冷気の南下を食い止めていたのが一気に外れこれに積乱雲崩壊の下降気流が加わった形と考えられる。

積乱雲の崩壊というミクロな現象が関わっておりここまでの予報を事前に出すことは現状技術では難しいように思われる。

今後の判断として、朝鮮半島側が高気圧サイドである、対馬海峡を雷雲の帯が通過する。この２つの条件が重なった場合雷雲の中心が通過した直後に同様に強風が吹き出す可能性があるので今後も注意が必要と思われる。

8月と9月の活動報告

8月2日(土) 河村記

台風の影響もさほど感じられなかったヨットハーバーに 10 名が集まりました。N さん、T さん共々、お子さま連れで参加され、夏休み感がハーバーに漂っていました。本日はシカーラ day！5 艇での活動開始。微笑ましい親子艇 2 艇を横目に 3 点マークを打ち終わり、いざレース練習開始。と思いきや、風がどんどん上がってきて、今津の海は白ウサギ祭りに大変身。台風の影響恐るべし。あちらでチン、こちらで沈。あまりの強風の影響で艤装に影響がでた艇も。このような状況下、活動は中止となり、結果 3 艇をのこのこで曳航してハーバーへと寄港することとなりました。改めて自然の怖さを感じさせられた一日となりました。

8月7日(木) 深町記

台風１１号接近に伴い、台風対策としてマスト倒しが完了しました。平日の午前中、それも太陽が照りつける状態にも関わらず、たくさんのメンバーの方がお越しくださいました。おかげさまで、短時間で作業終了することができました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。そして…、太陽よりも眩しいスマイル＆台風１１号よりもパワフルなジャンプもありがとうございました～！（写真アップしていますので、ご覧くださいね！）

8月17日(日) 桑田記

昨日、開催された「タモリカップ」の余韻が残る小戸ヨットハーバー。あいにくの小雨の中、なんと新メンバー：松岡さん、デビットさん、体験参加：永富さんを加え 21 名のメンバーが風とシャワーを浴びに「来た」「来た」「来た」。新メンバーに艤装や陸上シミュレーションを行い、小雨も上がり心地よい風が流れる中、シカーラ 3 艇、シーラーク 5 艇、のこのこ組（レスキュー7）でいざ海上へ。

小戸沖で学生さんがレースを行っていたため、ヨットハーバーの程よい近場でマーク練習と草レースを行いました。風も 3～4m？新メンバーには練習にもってこいでした。が、デビットさんは完沈したもよう。(笑)どんどん、参加者も増え OSSC 盛り上がっています。今年の新メンバーも気負いなく参加しましょう。

8月23日(土) 堀内記

久し振りに静けさを取り戻したハーバー。8 月に入って雨模様の天気が続いていましたが、この日はスカッと晴れたました。ディンギーセーリング禁断症状の出ていた面々19 名が集まりました。

この日のメインはのこのこの新エンジンのデビューです。宮尾さん、深町さんに面倒をみて頂き、のこのこに YAMAHA の 60 馬力新エンジンが搭載され、この日がお披露目。節目ですので進水式ならぬ新エンジン搭載記念セレモニーを行いました。新生のこのこをお神酒で清め、みんなで安全祈願と記念撮影。神主さんが居ないので活動当番がお神酒をのこのこのバウと新エンジンにかけてお清め、安全祈願しました。因みに残ったお神酒は活動当番で処理いたしました。練習中スタートの旗がふらふらしていたのはその為です。

のこのこおお清めの後、シングル 2 艇(プラス松永艇)、ラーク 7 艇で早速海上に出てコース練習。当初は北

西寄りの 3-4 メートル程度の風でしたが、北に振れて 4-5 メートル程に上がりました。スタート練習を数本、次に海上昼食を挟みながらコース練習を数本行いまいした。途中で修猷高校の FJ が 3 艇、一般のシーホッパー2 艇が殴り込みをかけて来ました。野口パパは何とか父親の面目を保ったようです。

ところでこんなに風が弱いのに沈の光景。スキッパー原田さん、なんでそげんな起こし方しよっと？　と見ていたら、同乗の新人クルーを先に艇内に乗せようとしていたのでした。自らはポチャンと水の中。気合入魂のスペシャルドリンクを 2 本開けているので、なかなか艇内に入れずスターンからやっと這い上がっていました。原田インストラクター、優しいですね。こんな地道な気配りが新人会員の増加と定着に繋がっているんですね、、、スペシャルドリンクの力で一度だけトップを引きましたが、体力の消耗でそれっきりでした。

豊福さん特製のウイスカーポールがデビューしました。ラウンドボトムの艇でのウイスカーは初めて見ますが、スピン艇に加えてあらたな艤装のスタートです。OS-6 に装備されています。これでフリーの走りが一味変わったものとなるでしょう。皆さんもお試しあれ。　　　　　　活動当番 C 班　村瀬、山内、堀内(記)

8 月 30 日(土)
野口記

今日は 5 名の体験がありスキッパーが足るか心配してましたが、沢山のメンバーが参加され、クルーザー、スループ 15 艇で海面に出ました。スタート練習後、少し長めの三角レースでは、いつもと志向を変えて、ベテラン艇は 1 分遅れのハンディキャップレースをしてみました。差の開きが少なくなり白熱のレースができ本船からも見て面白かったです。練習前にホープレスポジションなどの簡単な説明をしましたが、遠慮なく聞いて下さい。ヨットがもっと楽しくなりますよ。

村上(英)記

艇の返却報告　九州大学へ貸出していた S―3 が返却されました。新人戦ができ、とても感謝しておりました。本日乗艇しており、乗艇者から艇、艤装品など問題ないとの報告受けております。来週の小戸カップではライバルとなりますので、負けないように頑張りましょう。小戸カップの前日は BBQ、食べて、飲んで、遊んで、楽しみましょう。

フェスタ活動報告　風速 8m 超えのなか、玄界島まで行きました。玄界島で漁師の船を覗いたら 60cm 超えのサワラがクーラーに 7～8 本釣れてました。もう秋ですね。行きも、帰りもずっと山口さんがスキッパー。艇長資格はもうすぐです。フェスタのメインセールを畳むためのショックコードを購入しております。

フェスタ番外編　漁師の真似事をして釣り糸を垂らしてみました。カンパチが釣れましたが、小さいのでリリース。お父さんかお母さんを連れて来い！

8 月 31 日(日)　原田記

８月３１日は５～７ｍの絶好の風の中、シーラーク５艇・シカーラ３艇に１７名が乗り出艇しました。ベテランメンバーに新入メンバーをインストラクチャーしていただきながら、ハーバー沖→象瀬→黄色ブイ→ハーバー沖の小戸カップコースを廻りました。ハーバー沖に戻ってからは、自由練習のあとスタート練習、上マーク・下マーク練習をやって終了しました。最後の方は風速も上がり気味になり、少しハードだったかもしれません。皆さんお疲れ様でした。

9月13日(土) 深町記

秋晴れの空、(写真でもアップしていますが…)、それはそれは、絵に描いたような青空でした。そんな中、見学者Tさんを含む19名の海艇人がハーバーに集合！（内、５名はフェスタ乗艇）

全員で艇チェックを行ったあと、最近恒例となった？出艇前のジャンプで全員の気持ちがひとつになり、スループ５艇＆シングル１艇で海走しました(o^^o)♪

あまりにもきれいな藍色の海原と真っ青な空だったので、ロングセーリングを楽しもうということになり、まずは象瀬へ。このまま久しぶりに能古島一周をプチレースも兼ねてやってみようかという意見もあったのですが、昼過ぎから風が強くなりそうとのことだったので、黄色ブイ→小戸ハーバー沖までの海走を楽しみました。

予想より少し早めに、少しずつ風が強くなり、黄色ブイからハーバー沖に向かうころには、チラホラ白波も出てきました。レスキュー艇からは、そんなに海上が荒れていると感じなかったのですが、海艇人たちから「かなりうねりも出てきてるから、急いで戻ったほうがいい。」との声をもらい、全艇なるべく固まってハーバーに帰港しました。ちょうど、ハーバー入口にたどり着くや否や、風速１０メートル越えになり、早めの判断をしてよかったと思いました。

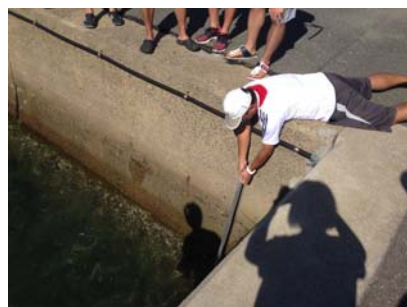
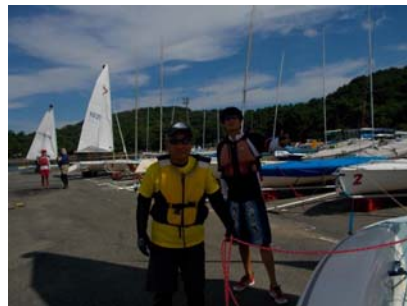
海走中は、スキッパーの練習をしたりする艇もあれば、写真撮ってくれぇ～！と被写体希望の艇もあり、みなさん、本当に太陽のように眩しく輝いていました。(特に、セイルNo.1022の敬老チームのハイクアウトはお見事でした！！！)

艇チェックに時間を要し、海走が１時間半弱しかできなかったのですが、みなさんそれぞれが濃い海タイムを楽しめたと思いますヽ(*´∀`)ノ

本日、見学として参加されていたTさんも、初めてお会いしたとは思えないほど、みなさんと楽しいひとときを過ごされたことと思います。特に、レスキュー艇には、ハーバーおしゃべり小町が乗艇していたので？（笑）

海から戻ってきても、まだまだ楽しいことが待っていました！　イカ発見！！！　容姿は立派な大人でも、気持ちは少年(o^^o)♪　結果がどうあれ、みんなで大笑いして、その日の活動を終えました。

本日は、白い帆が本当にきれいに見えた博多湾でした。季節も初秋を迎えはじめました。これからも、スポーツの秋を一緒に満喫しましょう！

活動当番／H班：加藤・深町

9月14日(日) 活動状況

9月20日(土) 桑田記

朝から肌寒く、夏から秋へ？　「沈」したくないと言いながら、集まったメンバー13名。(シカーラ day)
風が上がらないまま出艇、ハーバー沖で「のんびりセーリング」を楽しんでいました。が、それで終わるわけがない。(風3～4m？) マークセット完了後、すぐに「スタート練習」3回。続けて草レース5試合 (シカーラ4艇、シーホッパー2艇) 戦績は、総合1位：野口・藤組 (安定したセーリングのトップ3回) 2位：秦さん (ベテランの試合運びでトップ2回) 3位：金子・鳥飼組 (新人クルーをベテランがホローしながら2位2回と3位3回) でした。ハーバーで徳丸さんがOS-6の補修作業。　のこのこ (レスキュー：友納・桑田)

9月23日(祝火) 堀内記

この日の参加は11名。台風対策でシーラークのマストを倒していたので、シカーラ3艇、スループ2艇(内1艇は自艇)でマークを打った練習を行いました。風が弱いので当初は練習海面をハーバー近くの沖としていたのですが、この日は県民レースが行なわれており、ハーバーの目の前に大きくレースコースを設定していたため、止む無くレース海面の更に西側の今宿沖へ出ざるを得ませんでした。
風は1-2m程度の北北東の風で上-下コースで2本､段々と北西にシフトして2-3mに上がってからはマークを打ち変え上-サイド-下の三角コース＋ソーセージで25分程度の長めのコースを設定し2本ほど行いました。風が西へ西へと振れて行く中で振れを拾った人が前へ出る格好でした。
※反省　練習終了後ハーバーへ戻る際、県民レース海面を横切ってしまった艇がありましたが、これは礼儀としてレース海面を避け上マークの上乃至は下マークの下を通過するようにしましょう。皆さんに適切な指示ができず申し訳ありませんでした。のこのこも、まだレースが始まっていないものと勘違いをしてレース海面を横切ってしまったんです。大反省です。　活動当番　C班　村瀬/山内/堀内

9月27日(土) 野口記

今日は天気の良いヨット日和となりました。午前中は、風速2メートル程度のなかロングの三角コースを40分程かけてのレースをしました。昼からは大学選手権レースがのため、コースを上下のソウセイジに変更し、学生のスナイプクラスのスタートに合わせてosscもスタートしました。みんなの腕もあがり、きれいに横並びのスタートがきれ、白熱のレースを見ることができました。最後は高校生も参加し、見応えのあるレースでした。ロングコースで充実の一日だったのではないでしょうか。

9月28日(日) 豊福記

昨日に続き、本日も天候に恵まれ最高のヨット日和！　9月最後の乗艇日を楽しむべく、会員14名が集まりOS-1~OS-8+Ｙ-2(OS-5・6出艇不可)に分乗し出艇。当初は北東より4m/sの心地良いWindでした。今津湾の西海域はレースコースが引かれていたので、妙見岬から北西1km(能古島南)に三角ショートコースを設置し4本の草レースを行いました。

1本目は新入会員さんにティラーを握ってもらい、スキッパーの経験をして戴きましたのですが、皆さん初心者とは思えない程の快走振り！　来月10/12に控える新人杯クラブレースは凄まじい激戦が繰り広げられる気配が感じられる程でした。2本目からは次第に風も上がり5~6m/sとハイクアウトするに良い感じの風。

3、4本目頃には白波もチラホラ見える中でOS-7(敷井、平田)とY-2(山内、堀内)がスピンを張ってのデットヒートを繰り広げる一面も見受けられました。

新入会員紹介(第4弾)

浅原　聖樹　４月入会
ヨットは全くの初心者です。

岡崎　賢　８月入会
ヨット経験はありません。学生時代はスキー部に所属していました。整形外科勤務医です。

松岡　正道　７月入会
2014年4月より単身赴任で福岡に参りました。宜しくお願い致します。

デビット・ハリバートン
８月入会
海が好きです。ヨットを操船できるようになりたいです。

世話役会報告

OSSC　8月世話役会　決定事項　2014/8/23

出席：友納、桑田、宮尾、三野、縄田、添田、深町、冨田、槻木、野口、山内、堀内、村久木、天辰、村上
欠席：林、宮本

項目	内容
１、入会状況	正会員 82、家族会員 21、賛助会員 4　計 107 ※14 年入会 21 名　(8 月 16 日現在)
２、報告、確認事項	
・初心者ガイダンス 7/12（縄田、冨田、堀内）	新会員 10 名、他会員 12 名の参加
・林杯 7/27（F 班原田）	26 名 14 艇参加 5 位堀内・山内　11 位野口・深町　21 位平田・田口
・クルーザー体験 7/21（三野）、7/26(村上)	参加者なく、フェスタでの協力は中止
・タモリカップ 8/9,10（宮尾）	台風のため、15～16 日に延期 ニュース映像をユーチューブにアップしない。（著作権絡みを考慮して） 動画の場合は会員ページに載せる フェスタで参加しており、写真、活動報告は掲示板に記載して問題ない
・西区まるごと博物館 8/16（野口、天辰）	タモリカップの延期日と重なり、人員、安全確保できないため 17 日に変更提案するもディンギーのイベント中止。
・臨時ヨット教室　艇貸出 8/19（添田）	8 艇の福岡大学へ貸し出し。荒天のため中止。
・のこのこエンジン（宮尾、深町）	18 日～22 日でエンジン載せ替え。マリンクラブネイビー　60 馬力計 753512 円、（追加代金 14900 円）
注意点	暖気、冷気運転はそれほど必要ない。（港内の徐行運転が暖気、冷気になっている） 簡易マニュアルは、ホームページに載せる 取扱説明書は、のこのこに載せておきますのでよく読んでください
・クルーザー体験 8/23（桑田）	クルーで参加
３、行事、担当者	
・納涼素麺、船艇掃除 8/24（宮尾、槻木、山内）	フェスタ担当：宮尾、槻木。のこのこ担当：堀内、村上
・家族 BBQ 9/6（槻木、桑田、山内。会場設営班　堀内、添田）	会費 1000 円。会員家族、家族無料。 小戸公園へ場所変更。掲示板への集合場所変更案内お願いします。（槻木、桑田、山内）
・小戸カップ 9/7（I 班　宮本）	
・のこのこ杯クラブレース 9/21（D 班　内海）	
・クルーザー体験 9/28　担当決め	担当：宮尾
・新入会員歓迎会 10/4　（天辰）	場所:：ジュリアン（最寄駅は赤坂駅）、１８：３０～ 予約、掲示板案内（天辰）
・新人クラブレース 10/12（J 班縄田）	
・福岡市民スポーツ大会開会式行進 10/13、5 名	参加者予定：友能、添田、天辰。他２名は掲示板にて募集。（友納）
４、その他	
・ディンギーのこのこ貸し出しのルールについて	ディンギー、のこのこの貸し出しは基本的に行わない 個人的な相手への貸し出しは行わない

	例外的に、ハーバーを仲介しての依頼は応じる ハーバーを仲介しない貸し出しは、世話役会にて理由などを協議し決める 貸し出しの際は、理由、期間、原状回復など記載の書面をもらうこと のこのこは活動日と重なる場合の貸し出しは行わない
・九州大学学内新人戦のため、シングル 2 艇借りたいとの依頼あり期間 19 日～23 日 返却 30 日	九州大学のディンギー返却日は３０日（土)。対応村上
・メール活用法について	メールの To（宛先）は、あなたに送ってますという意思表示 ｃｃは、ｃｃの方も確認してくださいというときに使用 世話役内でメール協議する場合は、Ｔｏ，ｃｃを使用 フリーメールは全会員にメールが届きますので、世話役内で協議する場合は使用しない
・その他	世話役会前に決めなければならない案件がある場合、直近活動日に居合わせた世話役メンバーにて協議 協議結果は、各世話役へＴｏ，ｃｃメールにて報告すること やむを得ず協議できない場合は、三役にて電話協議し決める。結果は各世話役へＴｏ，ｃｃメールにて報告

OSSC　9 月世話役会　決定事項　2014/9/23

出席：友納、桑田、三野、縄田、深町、冨田、槻木、山内、堀内、天辰、宮本、村上
欠席：林、宮尾、添田、野口、村久木

１、入会状況	正会員 83、家族会員 22、賛助会員 4　計 109　※14 年入会 26 名　(9 月 18 日現在)
２、報告	
・クルーザー体験 8/23（桑田）	他のオーナー艇への応援で参加
・納涼素麺、船艇掃除 8/24（宮尾、槻木、山内）	参加者 19 名。天候悪くハーバー2 階でそうめん。エンジン載せ替えの際に掃除しているため、船底掃除は中止
・家族 BBQ9/6（槻木、桑田、山内。会場設営班　堀内、添田）	正会員 24 名。家族会員 7 名。家族 5 名参加。小度公園にて BBQ
・小戸カップ 9/7（I 班　宮本）	25 名、16 艇（自艇含む）参加。 1 位村上（光)、西田組。2 位堀内、山内組。3 位野口、深町組
・のこのこ杯クラブレース 9/21（D 班　内海）	
３、行事、担当者	
・クルーザー体験 9/28　（宮尾）	
・新入会員歓迎会 10/4　（天辰）	場所::ジュリアン（最寄は赤坂駅)、18:30～。 予約、掲示板案内（天辰）
・新人クラブレース 10/12（J 班縄田）	
・福岡市民スポーツ大会総合開会式　行進 10/13　5 名	参加予定：友納、添田、天辰。他 2 名は掲示板にて募集。（友納） 参加予定：友納、添田、村上（英)。掲示板、日々の活動で募集する。
・県民体育大会ヨットレース 10/19(C 班吉武)	9/23 に終了
・レベルアップ/安全講習会 10/26（縄田、冨田、堀内）	講習内容の検討 9/6 の経験を活かした講習会の実施。日々の活動に即した内容とする 当日活動した方の体験談を記録として残す
・秋の艇整備 11/15,16(野口、堀内)	艇の現況説明、整備日の検討 プレ宮崎への見積もり結果と合わせて、OS-5,6,8 の整備スケジュールの検討 ＯＳ－6，8 は既に修理中

	艇整備日を 11 月 8、9 日変更案があったが、福岡マラソンとかぶる 担当者（野口、堀内）の都合に合わせて日程の再調整お願いします。 日程確定後、掲示板にて案内。　11/23,24 に変更
・ＯＳ－6 の廃艇案について（堀内）	廃艇したところで、艇置料が安くなるわけではないので、冨田さんを中心として自前修理とする マストＯＳ－4 と取り換えを検討
・艇の破損報告が適切に行われてないことについて対応策案	申告しない者へ注意、従わない場合は会員資格を剥奪 掲示板に乗艇者の名前を記載する 活動記録で乗艇者を遡って確認できる。対応策は結論出ず
４、その他	
・新エンジンのギアについて（宮尾、深町）	バックのギアが固かったが改善される。しかし、前のギアが軟すぎたので、前よりは固いので注意
・野口さんのクルーザー艇長への推薦(宮尾)	野口さんを艇長に推薦し、世話役会承認。宮尾さんが欠席の為、村上が掲示板に記載します
・活動当番表の記載変更	山内
・クリスマスパーティーについて（深町、野口）	早めに場所を抑える。(深町)
・ディンギー、フェスタの出艇条件の記載がない	活動に関する基本事項に記載してはどうか？（友納） 活動に関する基本事項に記載する。(友納)
・11 月 9 日福岡マラソン。8 時 20 分スタート。9 時頃に今宿近辺での練習依頼。ヘリコプター中継？	行事担当：縄田。掲示板への案内：縄田 カレンダー、行事担当変更：山内 ＯＳＳＣのイベントとして通常活動を 2 時間早めて活動する。7 時集合。 当日は 6 時から交通規制もあります。掲示板でその旨も案内してください。 岸寄りでの活動となるため、風が強い場合は中止とし、通常海域での活動にしてください。
・9 月 6 日の活動について意見交換。改善、是正策。(村上)	ハーバー、福岡大学、中村三陽、日本経済大学、西南大学から救助して頂く レスキューロープが短くないか？浮きロープで長さが 50m くらいあればレスキュー艇の座礁は防げたのでは？ 練習海域が岸寄りではなかったか？岸から離れていれば余裕を持って対処できたのではないか？ ロープは現状のまま使用。練習海域などは安全講習会にて徹底する。 講習内容は担当者にて打ち合わせし、決めてください。(別紙参考資料参照) 行事担当者の都合が合わない場合は、日程変更してください。その場合は早めにメール連絡ください。
・各艇のハル	船齢による劣化で弱くなっており、ボトムに負担のかかる陸上シュミレーションは極力行わない。ＯＳ－６を陸上シュミレーション用として使用する
・艇更新について	ＦＪ，スナイプを中心に艇種の選定 国体の艇種から FJ が外されたので、FJ に狙いをつけてはどうか？艇選定については次回の議題とします。
・ハーバーからシングル（艇種不明）のラダー、ブームがあり	OSSC の予備として譲り受けます。(天辰)

10月・11月活動予定

日　付	内　　容	集合時間
10月　4日(土)	新入会員歓迎会(天辰)	18：30
10月　5日(日)	ＷＳＲ・クルーザーday	9：00
10月　12日(日)	新人杯クラブレース	9：00
	世話役会	15：00
10月13日(祝月)	市民体育祭入場行進・クルーザーday	9：00
10月　25日(土)	クルーザーday	9：00
10月　26日(日)	レベルアップ／安全講習会(縄田、冨田、堀内)	9：00
11月　2日(日)	ＷＳＲ・クルーザday	9：00
11月　9日(日)	福岡マラソン応援・クルーザーday	7：00
11月　16日(日)	クルーザーday	9：00
11月　23日(日)	秋の艇整備(野口、堀内)	9：00
11月24日(祝月)	秋の艇整備(野口、堀内)	9：00
	世話役会・艇整備状況報告	15：00
11月　30日(日)	秋のシカーラ杯クラブレース	9：00

（以上、敬称略）

☆編集後記☆

小戸ヨットハーバーでの最大のイベントであります『小戸カップ』も終わり、すっかり秋の気配となり、そろそろ冬支度の準備をする季節が近づいて参りました。今年初の冬ヨットを経験される方は寒さ対策がそろそろ必要かも…。11/9(日)に行われる活動の集合時間が７時になっていますので、ご確認下さい。

■ＯＳＳＣ　ＮＥＷＳでは会員の皆様からのご意見、ご希望、投稿などを募集しております。会報が皆様のコミュニケーションの場ともなりますように、是非お寄せください。尚、お送り頂いたお便りはご返却致しませんのでご了承下さい。　会報担当：添田

～～　Odo　Sunrise　Sailing　Club　～～

発行所：小戸サンライズセーリングクラブ（福岡市西区小戸３－５８－１福岡市立ヨットハーバー）